

第22回連合奈良地方委員会開催



連合奈良は11月7日（金）13：30から春日野荘において第22回地方委員会を開催し、執行部・地方委員・特別地方委員・傍聴を含み120名が出席し、当面する諸課題など第1～5号議案を審議し採択しました。

小山会長は挨拶の中で、集团的労使関係の後退、痛んだ雇用と労働条件が社会をむしばんでいるのが事実である。連合奈良はこの1年間、春闘を中心とし、雇用の立て直しと格差の是正・人間の尊厳を第1に考え大衆行動を通し社会への発言力を高めながら運動の前進を計ってきた。に取り組んで来た。昨年の大会で確認した2年間の方針に加え向こう1年の

運動課題として、すべての働く者の力を結集し「①労働者保護ルールの改悪」を阻止する。「②2015春闘については、統一要求し、賃金改善をはかり経済の好循環をつくる。また、非正規労働者の底上げ底支え、格差是正を重視し取り組んで行く」「③組織拡大、連合運動重要課題である1000万人連合を目指し取り組んで行く」「④政治力の課題、第18回統一地方選挙で連合奈良推薦候補者全員の必勝に向けて取り組むと述べました。」

2015年度運動方針（案）提案では、自治労より方針を応援する意味で「公契約条例」について意見を頂きました。

また、UNICEF 外国コイン募金の贈呈式・男女平等 川柳・写真募集の表彰式を行い、最後に第18回統一地方選挙での「勝利に向けた特別決（案）」「過労死ゼロ宣言（案）」が採択され、松岡連合奈良会長代理による「団結ガンバロー」で締めくくりました。



来賓挨拶
奈良県 奥田副知事



連合本部 寺田総局長



韓国労組忠南地域本部
チョン・グンソ議長



民主党奈良県連
高柳選対本部長



第18回統一地方選挙での
勝利に向けた特別決議



過労死ゼロ宣言
田中青年委員長



ユニセフ外貨コイン募金贈呈
毎日新聞奈良支局 岩崎支局長



自治労からの意見



団結ガンバロー